

ノーリフティングケア マネジメント研修

本研修の目的

ケアを受ける側・する側ともに安全で快適なケアが実践され、健康的な生活が保障されている組織づくりを行うことが目的です。

- ・ 利用者の自立を促し、二次障害を予防できる職場をつくる
- ・ 腰痛などの痛みを持つ職員を出さない、腰痛による休職や離職がない職場づくりができるようになる
- ・ 腰痛を持っている人も、年配の職員や女性も働きやすい職場環境をつくる

○ **日時** 下記参照 **研修時間 9:30~16:30 (受付 9:15~)**

○ **会場** 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所 3階 (神戸市西区曙町 1070)

○ **募集数** 5施設 (申込が5施設を越えた場合は選考します)

※本研修は5日間の研修です。5日間とも受講できる施設を対象にしています。

[受講要件] ※受講要件についての詳細はお問い合わせください。

- ・ 本研修の受講は福祉のまちづくり研究所の『ひょうごノーリフティングケアモデル施設』の認定要件となっています。総合リハセンターと連携・協力して『ノーリフティングケア』を推進していただける施設を募集します。
- ・ 下記のノーリフティングケア研修を本研修受講者のいずれかが受講すること、スライディンググローブやスライディングシート、スライディングボード等の福祉用具・機器を使ってノーリフティングケアを実践する意向がある施設
(スライディンググローブ・スライディングシート・スライディングボード他、福祉用具や機器については、各施設でご準備ください)
- ・ 施設単位でのお申込みとなります。
- ・ 1施設から3名~5名参加できる施設《1施設から何名参加していただいても構いませんが、自施設において*管理者(全体統括マネージャー)*教育担当(技術指導者)*個別アセスメントプランニング担当*福祉用具管理担当*健康管理等データ分析担当などの役割を担っていただきます。詳細は受講決定後にお知らせします》

【ノーリフティングケア研修】

- ・ 利用者と介護者の体を守る介護技術研修(起居動作介助編)
- ・ 利用者と介護者の体を守る介護技術研修(姿勢管理編)
- ・ 利用者と介護者の体を守る介護技術研修(移乗介助編)
- ・ 腰痛予防推進研修~介護職のためのノーリフティングケア~
- ・ 安全なケアの業務改善研修(腰痛予防)~管理者編~

○ 研修内容[プログラム](予定)

日付	時間	内容	講師
1日目	9月6日(月)	・ ノーリフティングケアの取組み方法を学ぶ ・ マネジメントの概念学ぶ	一般社団法人 ナチュラルハートフル ケアネットワーク
2日目	9月7日(火)		
3日目	11月6日(土)	・ PDCAサイクルについて学ぶ	
4日目	12月10日(金)	・ 研修の進め方や役割分担を確認する	
5日目	2022年1月15日(土)	・ 課題解決の方法を学ぶ ・ 各開催日に実践内容等を報告する	

本研修では、受講前に事前課題や研修中に施設全体で取り組む課題があります。また、9月から翌年1月までの研修を通して学び実践した取り組み内容を報告していただきます(別途、報告会を開催予定)。

○ **受講料** 1施設につき50,000円 (振込のみ)

○ **申込締め切り日** 締め切り日は、2021年8月10日(火) 12:00(正午)までです

○ **申込方法** 受講申込書(別紙)に必要事項を記入し下記の宛先に郵送もしくは持参

〒651-2181 神戸市西区曙町 1070
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター
福祉のまちづくり研究所 研修センター 行

○ **受講可否通知方法** 申込締切後、郵送にて通知。申し込み締め切り後10日以内に連絡がない場合は、お問い合わせください。

○ **新型コロナウイルス感染症対策における変更及び中止について**

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、今後本研修を変更及び中止する場合があります。
- ・ 変更及び中止の決定は、福祉のまちづくり研究所研修部門における最新 NEWS 又はノーリフティングケア研修のページに掲載します。申込者様・申込責任者様は、適宜ご確認のほどお願い申し上げます。

○ **新型コロナウイルス感染予防対策について【重要】**

- ・ 本研修は、フェイスシールドの装着が必須となります。フェイスシールドについては、運営側でご用意しております。
- ・ 受講の際は、厚生労働省や兵庫県のホームページをご参照いただくと共に、マスクの着用、咳エチケット、手洗い等の励行をお願いいたします。また研修当日は、会場受付にて検温や問診を実施いたします。
(※マスクは不織布マスクを着用してください)
- ・ 感染予防の方針については、福祉のまちづくり研究所ホームページ研修部門 NEWS 一覧よりご確認ください。
<http://www.hwc.or.jp/kensyuu/?p=8413>
- ・ 以上の内容に合意される方のみ申し込みしてください。ご出席いただく皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

今後、開催中止等、変更の判断をする場合は、当福祉のまちづくり研究所ホームページに掲載の上、受講決定者の皆様に個別にご連絡させていただきます。

○ **問合せ先**

兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所ホームページより研修部門の問い合わせページからメールにてお問い合わせ下さい。

<http://www.hwc.or.jp/kensyuu/form/contact/contact.cgi>

令和3年度 ノーリフティングケアマネジメント研修 受講申込書

標記研修を下記のものに受講させたいので推薦します

申込日 令和 年 月 日

法人・施設等名称		施設代表者 氏名		
施設 住所 〒		施設連絡先 TEL : FAX : メールアドレス :		
利用者と介護者の体を守る介護技術研修※① ①起居動作介助編 ②姿勢管理編 ③移乗介助編 注) 上記の3研修を必ず受講(受講予定)していること 全員が受講している必要はないが、当研修の受講者のいずれかが受講していること				
・腰痛予防推進研修～介護職のためのノーリフティングケア～ ・安全なケアの業務改善研修(腰痛予防)～管理職編～ 注) 上記の2研修を受講済みであること		左記の研修の参加者名を記入してください ・介護職編 : ・管理職編 :		
役割 ※	受講者名	職種	経験年数	利用者と介護者の体を守る介護技術研修 ①～③の受講日(予定日)を記載 例) ③ 6月26日
管理者 (統括マネジャー)				
教育担当 (介護技術・研修企画等)				
福祉用具管理担当 (導入計画・メンテナンス等)				
健康管理等データ分析管理担当 (腰痛・職場環境に関する調査等)				
個別アセスメント・プランニング担当				
事前課題(詳細は受講決定後に各施設へお伝えします) ・施設が保有する福祉用具のリスト化 ・施設に入所されている利用者の状態像の整理 ・介護作業員の腰痛予防対策チェックリスト ・施設が抱えている課題の整理 等				

※役割については、一人の受講者が複数の役割を担当しても構いませんが、役割を担える方を受講させてください
また、研修の際は全ての役割の方にご参加いただけるよう、ご配慮ください。

○当センターからの受講可否通知は、施設住所の代表者宛てに郵送します。

- 受講申込用紙に、記載漏れがないようにお願いいたします。
- 郵送もしくは持参にて下記までお申込みください。(FAX・ホームページ不可)
- 申し込みに記載された個人情報、名簿の作成等、研修事業以外の目的には使用しません。また、受講者への配布などは致しませんので、ご了承ください。

【申込先】〒651-2181 神戸市西区曙町1070

兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター 福祉のまちづくり研究所 研修センター

